

公益社団法人全国解体工事業団体連合会

令和7年度第2回登録解体基幹技能者講習運営委員会議事録

日 時	令和8年1月30日(金) 13:00~14:20	場 所	明治記念館(つる・かめの間) (港区元赤坂2-2-23)
出席者	<p>[出席者]</p> <p>委員長 平 典明(全解工連 副会長) 副委員長 上原 満(全解工連 理事) 委員 杉田竜司(東北・北海道ブロック) 委員 藤井 誠(関東ブロック) 委員 矢野智孝(全解工連 理事、北陸ブロック) 委員 中村茂仁(中部ブロック) 委員 西條隆雄(九州・沖縄ブロック) 講師 仲野昭、柳沢徳雄、寺嶋教之、倉田直人、佐藤雅也、古田博志、百々健一 オブザーバー 井上 尚(全解工連 会長) オブザーバー 高橋 仁(全解工連 副会長) オブザーバー 堀井太一(全解工連 理事) オブザーバー 稲村行彦(全解工連 専務理事) 事務局 周藤学、庄司英利</p>		
議案	議案 解体専用テキストの改訂について		
配布資料	<p>資料 7-2-1 登録解体基幹技能者講習専用テキスト修正(案) 資料 7-2-2 令和5年 第1版 ※差し替え及び追加分(案) 資料 7-2-3 登録解体基幹技能者講習運営委員会 講師資料 資料 7-2-4 サーバントリーダーシップ 資料 7-2-5 登録解体基幹技能者 安全衛生作業ガイドライン(案) 資料 7-2-6 解体工事業界市場規模について</p>		

[委員会成立報告]

定刻の13:00に至り、庄司事務局長が出席状況・資料を確認し、委員9名中7名の出席があるので委員会が成立したこと及び議案の関係で講師7名も参加していることを議場に報告した。それを受け、平典明委員長が開会の挨拶を行った。

[議長選出]

委員会運営規程第7条第3項に則り、平典明委員長が議長に就任し議事を進行した。

[議事録署名人の選出]

議長が議事録署名人の選出を議場に諮ったところ、議長一任の声があったので、議長が上原副委員長を指名したところ、満場一致で承認された。

[議案審議]

議案 解体専用テキストの改訂について

[平議長]:「登録解体基幹技能者講習の解体専用テキストは残部数の関係で増刷が必要になり、これを機に改訂をする。資料 7-2-1 は主に誤字脱字等の修正案であり、講師研修会(反省会)の際に確認したものである。同じく講師研修会(反省会)の際に、第 1 章が配分時間に比較してテキストの分量が少ないという意見が出されたので、平が差し替え及び追加分(案)を作成したのが資料 7-2-2 である。1-2 登録解体基幹技能者制度については、全解工連が取り組んだ経緯を入れるなど大幅に加筆した。さらに資格取得のメリットを 1-2-1 として項目をたてて詳しく記載した。受講要件を記載した部分は独立させて 1-2-2 とするが、内容は既存の文章を使用する。1-3-1 として登録解体基幹技能者の現場常駐義務についてを追加した。1-9 建設キャリアアップシステムは、1-9-1 として CCUS の目的、1-9-2 に CCUS の普及と定着に向けた動き、1-9-3 に CCUS に登録する技能者のメリット、1-9-4 に事業者にとってのメリット、1-9-5 に CCUS の義務化と加点の促進、1-9-6 に将来への投資としての CCUS を追加し内容を充実させた。1-10 レベル判定と能力評価基準は補足の文章を追加したうえで、1-10-1 解体技能者の能力評価基準[解体]として、さらに詳細な説明を盛り込んだ。最後に 1-11 を追加して、専門工事業の「見える化」評価基準とは?としたが、全解工連としてまだ取り組んでいないので必要か否か意見を伺いたい。」

[仲野講師]:「1-11 は現時点で取り組んでないにしても、今後の重要な課題であるのは間違いないのであった方がよい。」

[百々講師]:「第 4 章の解体工事の原価管理では、木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造のそれぞれで例題がありシンキングタイムとなっているが、木造だけでも数値を入れておいて講師が説明してから、他を考えさせる方がよいのではないか。」

[杉田委員]:「第 5 章のフィッシュボーンチャートは、受講生に考えさせるために何か所かを空欄にしてはどうか。」

[平議長]:「資料 7-2-3 は前回の講師研修会(反省会)での講師の方々からの意見を踏まえ、平が作成した①講習の位置付けと試験のレベル、②各章のポイントと解説である。資料 7-2-4 は大矢委員から提出いただいたサーバントリーダーシップの資料、資料 7-2-5 は高橋副会長から提供いただいた登録解体基幹技能者安全衛生作業ガイドライン(案)、7-2-6 も高橋副会長から提供いただいた解体工事業界市場規模についての資料である。それぞれ講義の参考にしていただきたい。」

[百々講師]:「資料 7-2-3 にある各章ごとのポイントと解説はテキストの冒頭に組み入れていただくと講義がしやすくなる。」

審議の結果、第 1 章登録解体基幹技能者制度の意義と役割の改訂は平委員長作成の改訂案どおりとすること、誤字脱字等の修正は事務局案どおりとすること、各章の冒頭にポイントと解説を入れることを出席委員全員一致で決議した。その他修正事項があれば 2 月末までに事務局に連絡し、最終改訂案を全員で再度確認することを付帯決議した。

[閉 会]

以上をもって議事のすべてが終了し、14 時 20 分に議長の閉会宣言によって令和 7 年度第 2 回登録解体基幹技能者講習運営委員会を閉会した。

以上の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人 1 名がこれに署名する。

令和 8 年 1 月 30 日

公益社団法人全国解体工事業団体連合会
令和 7 年度第 2 回登録解体基幹技能者講習運営委員会

議

長

平 典 明

議事録署名人

上 原 満